フリステWalker

個別指導学院フリーステップの情報満載

イメージキャラクター
足立佳奈

2019合格体験記

入試情報室より

近畿圏 国立・公立中高一貫校について

中学受験生 小6生の冬のすごし方

講師フォーラム実施レポート

受験学年になる前にしっかりと事前情報を入手！
フリーステップ新年度3大ガイダンス開催！

ぷち教育学

世界の教科書から見る日本

2019 12月
【第134号】

2019 合格体験記

Congratulations!

都立文京高校 普通科 笠井　洸介

荒川区立原中学校 出身
町屋教室

合格

小さな目標の達成の積み重ねがいつしか志望校合格へ

その他合格校
淑徳巣鴨高校

僕は3年生の4月からフリーステップに通い始めました。勉強は普段あまりしておらず、受験勉強を始めようと考えたときに何から勉強すればいいのか全くわからない状態だったので、入塾することを決めました。

また苦手科目を得意科目にしたかったのも入塾したきっかけのひとつです。

この塾のいい所は、わからないところはいつもわかりやすく教えてくれるところだと思います。僕の目指していた高校は自分の実力よりも偏差値が高い高校だったので、最初の模試ではD判定でした。ですが最終的にはS判定まで伸ばすことができました。これはフリーステップのおかげだと思っています。なぜかというと分からない問題があったときにはいつもわかりやすく教えてくれたからです。

僕が塾に通っていて一番印象に残っていることは冬期講習です。冬休み中はほとんど毎日冬期講習の授業が入っていて、正直かなり大変でした。ですが、冬期講習が終わった後の達成感と冬期講習後のテストで点が伸びたときの喜びは今でも憶えています。

一番努力したのは、入塾するきっかけにもなった苦手科目の数学を得意科目にすることでした。数学の中でも特に関数が苦手だったので、フリーステップで重点的に勉強しました。そのおかげか数学の点数が徐々に伸びて行き教科全体の点数も次第に上がっていきました。そして本番までに目標点を超えることができ、合格できたのだと思います。

僕のおすすめの勉強法は、その日ごとに目標を決めていくことです。例えば「英単語を10個覚える」「数学の公式を覚える」などの小さな目標で構いません。なぜなら小さな目標の達成の積み重ねが、いつしか志望校合格へと近づいていくからです。

もう1つは繰り返し練習することです。僕は勉強を始めたての頃に問題集や参考書などをたくさん買ってもらいましたが、結局はどれも中途半端に終わってしまい、あまり学力を伸ばすことができませんでした。そこで、問題集を一冊にしぼって完璧にできるまで繰り返し解いていたら、成績が徐々に上がっていきました。

このように長時間勉強する以外にも勉強法を改善するだけで学力を身につけることができます。もちろん僕が紹介した勉強法以外にもたくさんの方法があるので、自分に合った勉強法を探してみてください。

最後になりますが、僕が志望校に合格できたのは自分の親と塾の先生のおかげで、決して自分1人の力では合格できなかったと思います。なので感謝の気持ちを伝えたいと思います。今まで支えてくれてありがとうございました。

立命館大学 文学部 東野　帆乃佳

亀岡高校 出身
亀岡駅前教室

合格

模試ノートを作り、自分の弱点を知ることが大切

この塾に行こうと思ったきっかけは、私がいくつかの塾と比べて悩んでいた時に、フリーステップ亀岡駅前教室の学習プランナーから説明を受けて、学習に対しての前向きな姿勢と説得力を感じて、勉強を頑張ろうと思えたからです。また、体験授業を受け、分かりやすく、丁寧だと思いました。

そしてこの塾の良さは、学習プランナーや講師の方が優しく、何でも相談にのってくださり話しやすいところです。また、勉強の指導が丁寧で、自主学習にもしっかり取り組めるところも良いと思います。学校の期末テストの点数が良かったり、上がったりしたときには賞状が飾られるので、勉強のやる気が上がります。塾に通う友達同士で刺激し合って勉強に取り組めると思います。

合格に向けて私は学校の定期考査で高得点が取れるように毎日の授業を復習して、真剣に取り組みました。高1から高3までの評定が必要な入試方式だったので、成績を維持できるように努力し、毎日の積み重ねが合格につながりました。また高1から受けた模試は必ず復習し、模試ノートを作っていました。自分の弱点を知ることができたし、自分に合った勉強法を見つけられたので、合格へと繋がる学習ができたと思います。

その中でも私がよかったと思う勉強法は、英語の単語を電車の通学時間や休み時間などの空き時間に覚えることです。CDを使うことで、発音やアクセントの勉強にもなると思います。また、歴史などの暗記教科は夜に覚えて、朝に復習すると効率よく覚えられました。歴史は語句だけを覚えるのではなく、流れをつかむことが大事なので、漫画を読んだり、映像授業を受けたりすることで定着していくと思いました。また模試を受けた後は、必ず模試ノートを作り、自分の弱点を知ることが大切です。次の模試を受けるときに見返して復習もできるのでおすすめです。

塾に通っていて私が一番印象に残っていることは、高3の夏期講習です。成績が伸びるかどうか不安があり、毎日の夏期講習でしんどかった時もありましたが、学習プランナーや講師の方が励ましの言葉をかけてくださって、最後まで取り組むことができました。模試の成績が上がったときには、一緒に喜んでくださってとても嬉しかったです。

講師の先生が授業の後に書いてくださる学習カードのコメントが、いつも前向きになれる言葉で勉強のモチベーションが上がり、勉強に取り組むことができました。

最後になりましたが、私は親や塾の先生に「ありがとう」の言葉を伝えたいです。親には、塾に入れさせてもらい、いつも気にかけてくれて家でもしっかり勉強に取り組むことができました。塾の先生には、入試に向けての取り組み方や、受験勉強のやり方をたくさん教えていただきました。進路が決まるかどうかの不安があったときも相談にのってくださり、前向きに勉強を頑張ることができました。大学に入ってからも充実した生活が送れるように、色んなことに挑戦して勉強を頑張っていきたいと伝えたいです。

保護者の方よりメッセージ

合格おめでとう。ついにやりましたね。
今までの努力が実り心から嬉しく思います。
その頑張りを自信にかえ、充実した学生生活をおくってください。
これからも希望に満ちた限りない未来と可能性が広がるよう祈っています。

Congratulations!

点数アップ・高得点獲得おめでとう!!

2019年も点数アップ・高得点獲得の知らせが続々と報告されています！ 年間掲載数5,104件

（2018年7月10日～2019年7月1日広告掲載数）

大幅点数UP

関西

山城 結依さん
西院教室
【桂（京都）高校１年生】教科：数学Ⅰ

夏原 大和さん
八日市教室
【東近江市立湖東中学校３年生】教科：英語

竹前 克咲さん
野方教室
【中野区立緑野中学校２年生】教科：数学

古森 櫻子さん
富士見台教室
【井草高校２年生】教科：ｺﾐｭ英語Ⅱ

河野 綾介さん
塚本教室
【金光大阪高校３年生】教科：物理

木本 侑樹さん
古川橋教室
【中学校１年生】教科：英語

望月 里紗さん
ひばりヶ丘教室
【都立武蔵高校３年生】教科：数学Ⅱ

新井 美希さん
篠崎教室
【科学技術高校３年生】教科：数Ⅲ①

柴尾 幸樹さん
初芝教室
【堺市立美原西中学校２年生】教科：数学

佐々木 敦雄さん
住吉教室
【大阪市立住吉第一中学校３年生】教科：国語

亀山 夏乃さん
保谷教室
【東京成徳大学高校３年生】教科：数学Ⅲ

柳澤 俊佑さん
西落合教室
【中学校２年生】教科：数学

岡本 南美さん
高槻教室
【千里高校３年生】教科：数学Ⅱ

中井 太一さん
箕面教室
【中学校２年生】教科：英語

山本 京一朗さん
花小金井教室
【小平市立花小金井南中学校２年生】教科：社会

齋藤 優奈さん
町屋教室
【荒川区立第四中学校３年生】教科：英語

松井 心優さん
学園前教室
【郡山高校１年生】教科：数学Ⅰ

塩谷 伊吹さん
西神中央教室
【神戸市立平野中学校２年生】教科：英語

二宮 唯華さん
東小金井教室
【中学校３年生】教科：理科

内田 悠太さん
矢野口教室
【稲城市立稲城第四中学校３年生】教科：英語

高得点獲得

関西

四方 祐希さん
亀岡駅前教室
【亀岡市立南桑中学校１年生】教科：数学

南 勝太さん
彦根本部教室
【滋賀学園高校１年生】教科：ｺﾐｭ英語Ⅰ

室屋 冴さん
大日教室
【関西大学北陽中学校２年生】教科：数学

拝上 優太さん
交野駅前教室
【交野市立第二中学校２年生】教科：数学

川東 璃央さん
門真南教室
【門真市立第七中学校２年生】教科：英語

伊井 裕貴さん
住吉教室
【高校１年生】教科：英語表現Ⅰ

植村 円香さん
津久野駅前教室
【羽衣学園高校２年生】教科：数学Ａ

井上 颯太さん
粟生教室
【茨木市立彩都西中学校３年生】教科：数学

前田 涼風さん
新大宮教室
【奈良市立三笠中学校３年生】教科：英語

澤吉 凌さん
日生中央教室
【川西北陵高校２年生】教科：数学Ⅱ

関東

佐々木 琉さん
富士見台教室
【豊島学院高校１年生】教科：数学Ａ

石井 木乃美さん
保谷教室
【西東京市立青嵐中学校１年生】教科：英語

山岸 優澄さん
下赤塚教室
【中学校２年生】教科：英語

山口 音緒さん
東小金井教室
【武蔵野市立第二中学校２年生】教科：数学

千隅 由布子さん
王子教室
【星美学園中学校２年生】教科：数学

宮坂 陵雅さん
ときわ台教室
【板橋区立桜川中学校３年生】教科：数学

山内 勇人さん
花小金井教室
【高校１年生】教科：数学Ⅰ

笹川 大地さん
平井教室
【高校３年生】教科：ｺﾐｭ英語Ⅲ

梶 姫菜乃さん
東久留米教室
【新座市立第六中学校２年生】教科：英語

水上 舞さん
町屋教室
【荒川区立第九中学校２年生】教科：英語

★★★ がんばりは「成果」になって現れる!! キミも続け 点数アップ！ ★★★

ホームページにも多数掲載中!!

携帯から今すぐチェック!

フリーステップ 検索

入試情報室より

近畿圏 国立・公立中高一貫校について

入試情報室　藤山 正彦

いよいよ中学入試のシーズンが近づいてきました。私立中学校に関しては入試日程や入試科目が一覧になったものが多いのですが、公立の中高一貫校については募集人数も少なく、発信されている情報量も限られています。そこで今回はあえて、その学校についてまとめてみました。まず、これらの公立の学校は入試のことを「入学試験」ではなく「適性検査」と呼びます。これは公教育という性格上、学力だけで入学者を選抜するのではなく、その学校の特性に適合した生徒を選ぶ、という建前があるためです。したがって教科名を冠した試験ではなく「適性検査（理数的表現）」などと教科横断型（例えば「理数的」なら算数と理科が合体したような）「合科型」の作問となっています。

まず、国立大学附属系の8校についてです。大阪教育大学附属は3つの中学校があります。しかしその募集人数や入試方式は異なります。かつては学力試験で合格した後に抽選がありましたが、今では1次が国語と算数の試験、合格者がそれ以外の科目の2次試験に進むという仕組みになっています。「池田中学校」と「天王寺中学校」は実技系の科目もあります。「池田中学校」は1教科選択するだけで構いませんが、「天王寺中学校」は音楽では作曲、図工ではデッサンといった本格的な実技試験が待ち構えています。

神戸大学附属中等教育学校は10年前までは附属小学校からの進学者のみの中学校でしたが、6年制の中等教育学校に改組し、2015年から中学からの募集も始めたため、併願として受験される私立中学校も試験日程や手続き日の変更などの影響が出ました。こちらは中学入試には珍しく出願時に小学校の「調査書」が必要です。因みに私立の神戸女学院中学校も調査書が必要で、募集要項には「重視する」となっていますが、その評価基準は発表されていません。

奈良女子大学附属中等教育学校は大正時代の新教育運動以来「合科型」授業の伝統がある学校ですが、入試ももちろん合科型です。募集定員は男女それぞれで設定されており、毎年女子の競争倍率は男子の約2倍という狭き門となっています。（2019年度入試の実質倍率は、男子は2・61倍、女子は4・67倍でした。）

以上いくつかの国立大学の附属中学校を紹介しましたが、基本的に教育系の学部の研究機関としてカリキュラムの開発や、地域の中学校の教員を集めての研究授業を行う場ですので、私立の中高一貫校のような先取りカリキュラムではなく、宿題や小テスト、授業時数が多いわけではありません。

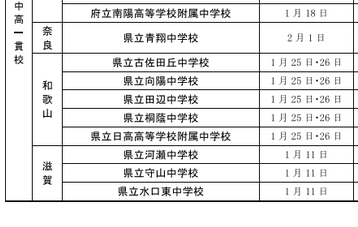
一方、地方自治体立の公立中高一貫校は特徴的な募集や教育活動が行われています。大阪の「咲くやこの花中学校」、「水都国際中学校」は大阪市立ですので大阪市内在住の受験生しか受験することができません。これらの学校は高校からの募集もありますが、そちらは他の大阪市立の高校と同じで、府立高校と同じ日に同じ問題で試験が行われ、大阪府下なら大阪市外からでも受験が可能となっています。咲くやこの花中学校は「ものづくり」「言語」「芸術」「スポーツ」と20名ずつ合計80名の募集となっていますが、入試では「適性検査Ⅰ」が共通問題で、「適性検査Ⅱ」がそれぞれ異なった内容となっています。しかし、入学後は各コースから10名ずつの2クラスにまとめられます。つまり4コースが合体した2クラスで授業がおこなわれます。進学実績も高く、2019年度大学入試では京都大学4名、大阪大学3名など国公立大学に現役で29名、既卒まで含めると36名が合格しています。

大阪市立の「水都国際中学校」は今年開校した新しい学校で、まだ中・高の1年生しか在籍していませんが、すべての授業の4割（理科や数学も）を英語で行い、定期テストも科目によっては紙ではなくCBT（タブレットを使って画面上で答える方式）、さらに今の中1が高2になる4年後には国際バカロレアの認定校をめざして準備が進んでいるという、公立とは思えない特色のある学校です。大阪市立ですが、学校の運営は大阪YMCAという法人に委託する「公設民営」という全国初の設置形態も注目されています。

兵庫県立芦屋国際中等教育学校の入試は「作文」のみ、そもそもこの学校は日本語理解が不十分な外国籍児童30名、帰国子女生30名、一般児童20名の合計80名という学校で、一般児童の「作文」による募集では倍率10倍を超えるという難関となっています。この学校は兵庫県立ですが、申請によって大阪府からの受験・入学が認められる場合もあります。

京都府立南陽高等学校附属中学校は2018年開校、つまり今は中1と中2しか在籍していない学校で、募集は40名の1クラスのみです。通学域は京都府南部の「山城通学圏」と限られています。つまり京都市在住の小学生は受験できないことになっています。

このように、公立の中高一貫校といってもかなり特徴に違いがありますので、授業料が安い（地元の公立中学校と同じで無料）というだけで選ぶのではなく、その特色をよく調べてから、または私立中学校とも比較検討してから受験（適性検査なので「受検」と要項に表記している学校もあり）することをお勧めします。



■2020年度 国立中学校・公立中高一貫校 入試要項一覧

		学校名	試験日	募集定員	試験教科	面接	合格発表日	受検料	出願期間
国立校		大阪教育大学附属池田中学校	1次．1月25日 2次．1月28日	男女144名 （内部進学者を含む）	1次：検査Ⅰ《筆記による検査》国語 検査Ⅱ《筆記による検査》算数 2次：検査Ⅲ《筆記による検査》理科・社会より1教科選択 検査Ⅳ《実技による検査》 音楽・図工・体育・家庭より1教科選択	無	1次．1月27日 2次．1月30日	5,000円	12月9日～12月13日
		大阪教育大学附属天王寺中学校	1次．1月18日 2次．1月21日	男女144名 （内部進学者を含む）	1次：算数・国語 2次：理科・社会・音楽・図工・家庭・体育実技	無	1次．1月20日 2次．1月24日	5,000円	12月11日～12月12日
		大阪教育大学附属平野中学校	1次．1月25日 2次．1月27日	男女108名 （内部進学者を含む）	1次：算数・国語 2次：理科・社会	有	1次．1月26日 2次．1月30日	5,000円	12月2日～12月16日
		神戸大学附属中等教育学校	1月21日	男女80名	「言語表現」・「数理探究」必須 「自然環境」・「市民社会」から1領域選択・作文・調査書	無	1月24日	5,000円	12月2日～12月4日
		京都教育大学附属桃山中学校	1月18日	男女50名	算数・国語・理科・社会	無	1月21日	5,000円	11月28日～12月5日
		奈良教育大学附属中学校	2月6日	男女136名 （内部進学者を含む）	算数・国語・理科・社会	無	2月7日	5,000円	12月23日～1月20日
		奈良女子大学附属中等教育学校	1月23日	男子約60名　女子約60名 （内部進学者を含む）	表現Ⅰ（言語的表現）　表現Ⅱ（数理的表現） 表現Ⅲ（対話的表現）	無	1月26日	5,000円	ネット出願導入 12月16日～1月7日
		滋賀大学教育学部附属中学校	1月11日	男女108名 （内部進学者を含む）	算数・国語・理科・社会	有	1月16日	5,000円	11月25日～11月29日
公立中高一貫校	大阪	咲くやこの花中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ	有	2月1日	2,200円	12月26日～12月27日
	大阪	水都国際中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ	有	2月1日	2,200円	12月26日～12月27日
	大阪	府立富田林中学校	1月25日	男女120名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・作文	無	2月2日	2,200円	12月25日～12月26日
	兵庫	県立芦屋国際中等教育学校	2月1日	男女80名	作文	有	2月6日	2,200円	1月14日～1月17日
	兵庫	兵庫県立大学附属中学校	10月26日の学校説明会にて発表						
	京都	市立西京高等学校附属中学校	1月18日	男女120名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	京都	府立洛北高等学校附属中学校	1月18日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	京都	府立園部高等学校附属中学校	1月18日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	京都	府立福知山高等学校附属中学校	1月18日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	京都	府立南陽高等学校附属中学校	1月18日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	奈良	県立青翔中学校	2月1日	男女80名	適性検査1・2	有	2月5日	2,200円	1月20日～1月24日〔消印有効〕 1月27日～1月28日
	和歌山	県立古佐田丘中学校	1月25日・26日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	和歌山	県立向陽中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	和歌山	県立田辺中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	和歌山	県立桐蔭中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	和歌山	県立日高高等学校附属中学校	1月25日・26日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	滋賀	県立河瀬中学校	1月11日	男女80名	作文・適性検査	有	1月18日	2,200円	12月16日～12月17日〔消印有効〕 12月16日～12月18日
	滋賀	県立守山中学校	1月11日	男女80名	作文・適性検査	有	1月18日	2,200円	
	滋賀	県立水口東中学校	1月11日	男女80名	作文・適性検査	有	1月18日	2,200円	

中学受験生
小6生の冬のすごし方

フリーステップ修学院教室チーフ　住本 正之

11月になりました。小6生の中学受験生のみなさん、模試やプレテストは受験していますか？中学受験生自身にとっては、冬休み・冬期講習や1月の入試直前期を含めて、これからの追い込み期の学習計画を考え、実行すること。保護者の方にとっては、お子さんの体調管理と受験に関わる準備を進めることがポイントとなる時期です。今回は11月から冬休み・冬期講習の時期において、小6の中学受験生にとっての重要ポイントをお話していきたいと思います。

冬のポイント その1
理科、社会がポイントとなる追い込み期

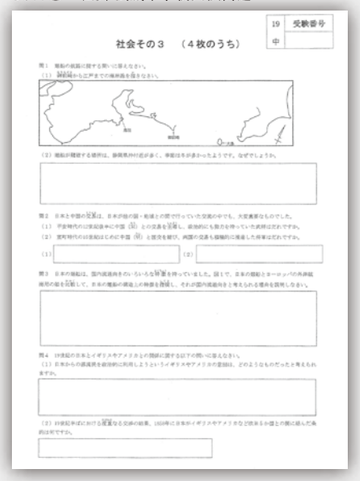
中学受験生のみなさん、今まで一番勉強をがんばってきた科目は何ですか？算数または国語と答える方が多いのではと思います。算数と国語が中学入試の重要科目であることに違いはありません。算数と国語の2科目や算数のみの1科目入試を実施している中学校もあります。しかし、理科や社会が受験科目となっている場合、特に、第一志望校の入試配点が算数や国語と同じ場合や理科や社会の勉強量が少ないと感じている場合、これからの追い込み期間の重点科目は理科と社会となります。

関西地方の私立中学校の場合、東大寺学園中、関西大学第一中、関西大学中等部、京都女子中（1回目）などでは、国語、算数、理科、社会とも配点が100点です。一方、慶応中等部（共学）や立命館中、大阪桐蔭中などでは、理科や社会の配点が国語や算数の半分となっているなど配点が低いケースがありますが、1点を争う入試ですから、軽視するわけにはいきません。

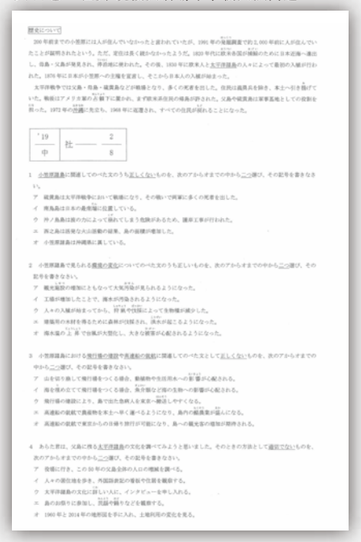
社会や理科は知識の体系的理解や用語の記憶量が学習の中心となります。理科の場合には計算を必要とする算数的問題も出題されますが、生物分野や地学・天体分野を中心に、知識量が問われる単元や項目もあります。志望校の入試問題の過去問を解いてみて、理科や社会の得点率が7割未満であれば、理科や社会の学習で不十分な単元や項目が残っているといえるでしょう。しかし、知識量が重視される理科や社会であれば、学習量をこなしていけば、国語や算数よりは比較的短期間で得点力を上げることは十分可能です。理科であれば植物、昆虫、動物などの生物分野と星座や地層、河川などの地学分野、社会であれば歴史分野と憲法や三権（国会・内閣・裁判所）などの公民分野を確実に固めていきましょう。

他方、過去問における理科や社会の得点率が既に8割後半以上であれば、それを9割以上にしていこうとする勉強は、かえって効率的ではありません。その場合は理科も社会も、テキストや参考書に載っていない細かい項目も学習する必要が出てきますし、算数や国語の過去問の得点率が理科や社会よりも低い場合には、算数や国語の学習が十分にできていない単元や項目が残っている可能性があります。教室チーフに相談し、今の段階で重点すべき科目や単元を確認しましょう。

資料①　出典:武蔵中学校入試問題



資料②　出典:筑波大駒場中学校入試問題



冬のポイント その2
過去問やプレテストの出題傾向に基づいた学習を

小6生のみなさんは志望校の過去問を既に解きましたか。また、これは関西圏のみの話にはなりますが、志望校がプレテストを実施している場合、プレテストを受験しましたか？

このことは中学入試のみならず、高校入試や大学入試にも言えることなのですが、志望校の過去問を解き、過去問の出題傾向をつかみ、その傾向に即して学習を進めることが、入試直前期の受験勉強の最重要テーマです。プレテストを受験された場合は、来春入試の予告編ともいえるプレテストの見直しも重要です。

出題傾向を把握しておくことも重要です。資料①と資料②には、ともに首都圏にある男子校のなかでもアカデミックな校風で知られ、大学教授や研究者を数多く輩出してきた、武蔵中と筑波大駒場中の今年の社会の入試問題の一部を掲載しました。ともに個性の強い校風で有名な名門校ですが、入試問題にも極めて濃い個性があります。

資料①にある武蔵中のように、文章を書かせる論述問題が多く出題されている中学校を志望校とする場合と、資料②にある筑波大駒場中のように、記号選択問題の出題を中心としている中学校を志望校とする場合では、入試直前期の勉強内容にも違いが出てきます。前者の場合は文章表現力を鍛え、論述問題解答の前提となる知識の体系化をはかる学習、後者の場合は効率よく選択肢を絞り込む技術と、社会や理科の場合は不正解問題に関わる知識や理解を再確認することがポイントになります。

関西地方の私立中学校の一部で実施されているプレテストは過去問以上に、来春実施予定の入試問題の出題傾向を踏まえたものとなります。プレテストも入試問題を作成される中学校の先生が問題を作ります。学校によってはプレテスト実施後、入試作成教員によるプレテストの解説や採点された答案をもとにした個別相談会を実施するケースもあります。入試時間や配点など、昨年度の入試から変更する点がある場合、プレテストではその内容を踏まえた作問や実施となります。プレテストは「受験生のみなさん。入試本番までにここを勉強しておいてくださいね。」という、中学校からのメッセージでもあるのです。模擬試験と同様に、プレテストでも合格可能性の判定がなされる場合が多いのですが、仮にその判定が良くないものであったとしても、得点できなかった項目や単元を見直して、それらを集中的に学習していくことで効率的な志望校対策の学習が可能です。

冬のポイント その3
早寝早起きと朝学習の習慣化

午後入試を実施する中学校も増えてきましたが、ほとんどの私立中学校の入試は午前中から実施されます。午前8時台から入試実施の中学校もあります。小学校も朝から授業が行われますが、朝から学校としてテスト形式の問題演習中心の授業となることはありません。テスト形式の問題に取り組むことに慣れておくことは、受験生やご家庭個々の取り組みとなります。すなわち、早寝早起きと朝起きてからの朝学習が、受験を間近に控えた小6生にとっては重要となってきます。

秋の朝はとても快適で、起床も朝学習も比較的スムーズにできます。しかし、12月以降、次第に寒さが増してくると、朝早く起きること、起きることができてもお布団から出ることが難しくなってきます。子どもが自発的に早い時間に起床をすることが難しくなる季節、保護者の方が早めに起床をして、お子さんの早起きへの協力をお願いします。保護者の方にとっても冬の時期の毎日の早起きは簡単ではないとは思いますが、受験までの追い込みの時期、毎日の早起きが合否に直結すると考え、早起きをされることをお勧めいたします。※後述の「朝学習のモデルケース」参照

朝学習の内容ですが、以下の3つのポイントを踏まえて、学習内容を決めることをお勧めします。

①昨日の学習の復習
②脳を活性化させるための学習
③継続的に続けることで身につくジャンルの学習

①についてですが、脳生理学において、人間は就寝直前に記憶作業をした事柄が、他の時間帯に記憶の作業をした事柄よりも記憶に残りやすいとされています。国語の慣用句や熟語、社会の用語など、就寝直前の5分ほどに知識項目の学習を進め、翌朝、起床直後にその項目をザっと見直すのです。三日坊主では意味がありませんが、就寝前と起床後の計10分の勉強を1か月、2か月と続けていくと、効果は必ず現れてきます。

②ですが、難しいことをする必要はなく、算数や理科の計算問題や二行問題、国語の短文読解問題など、基本的かつ短時間に考えさせる問題を解いていくことです。資料③にあるのは算数の二行問題の一例です（『小学実力錬成エフォート』算数Ⅲより）。多くの私立中学校の算数入試問題では、前半で計算問題やこのような二行問題が出題されています。難問奇問ではなく、基本的、標準的な問題を進めることがポイントです。1つの問題で2分を目安として、例えば、5つの問題を10分間で解くという学習を進めるのです。基本的な問題で起床直後の脳を解きほぐすこと、制限時間内に速く、正確に解く体感を身につけること。これも朝学習のポイントです。

③の代表例は国語、理科、社会の記述問題や論述問題です。記述問題・論述問題といっても、15字前後のものもあれば300字以上の長文を書かせる論述問題を出題している中学校もあります。朝学習の目的は午前中の問題演習に慣れることや脳の活性化が中心であり、また合計1時間程度の限られた時間帯の中での学習のため、比較的長時間を要する長めの論述問題を朝に解き進めるのは、少なくとも平日の学校がある日の朝学習として考える必要はないと思います。むしろ、20字や30字程度、長くても40字以内の解答文となる問題を、合計20分程度以内で解ける分量を進めていくことをお勧めします。資料④は『小学実力錬成エフォート』国語Ⅲから抜粋をしたものです。設問のみを掲載しましたが、5問ある問題の中で字数が多め（50字以内）である(3)は省略して、前半の(1)と(2)を合わせて10分から15分で解く。後半の(4)と(5)は翌日の朝学習で、同じく合わせて10分から15分で解く。そのように進めていくと効果的です。記述問題や論述問題を解くにあたって、解答例を見ただけでは自分の書いた解答文がどれぐらいの得点になるのかがわからないので復習ができない、という声を聞くことがあります。もちろん、書いたその場で採点をして、失点をした理由を突き詰めることができたほうが学習効果は高いですが、今回の朝学習の目的は、朝に問題に解くことに慣れること、脳の活性化、そして、記述問題や論述問題そのものに触れる量を増やすこと、解答文を書くことに慣れることであり、ご家庭で採点や復習が難しければ、採点や復習はその場ではせず、塾で質問をするというスタンスで大丈夫です。あくまでも、問題を解くこと、考えること、書くことに慣れることを主眼に置いてください。

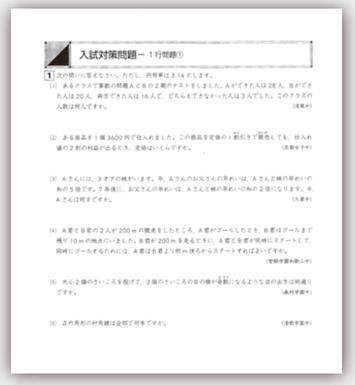
約1時間の朝学習ですが、モデルケースを書いてみました。起床後の5分間は昨夜の記憶事項の復習。その後、算数の計算問題や一行問題を進めます（約15分）。採点をして、間違えた問題があれば、その問題の解き直しや同じ単元の問題を2問ほど解きます（約10分）。5分ほどの休憩をはさんで、国語か社会の記述問題・論述問題を進めます（約15分）。5分程の休憩をはさんで、理科の約65分となります。国語と算数の2科目受験をされる場合は、理科の計算問題のパートで算数の、前半に進めた単元とは異なる単元の計算問題や二行問題を進めるという差し替えで対応してください。

今回は中学受験合格を目指す小6生の冬のポイントについてお話をしてきました。受験生にとっては本当の意味での追い込み期となっていきます。密度の濃い、志望校の入試に即した効率的な学習が求められる時期ですが、風邪やインフルエンザなど体調を崩しやすくなる時期でもあります。特に入試直前期や入試当日に体調を崩してしまったら、今まで頑張ってきたことが全て水の泡となってしまう可能性があります。勉強時間を十分に確保しつつも、毎日の睡眠時間は充分にとり、飲食や気分転換、体調管理にも気を配りながら受験勉強を進めてください。

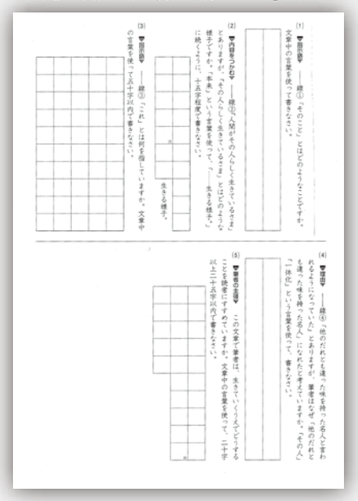
朝学習のモデルケース

5:45
起床（着替えと軽い飲食）
6:00〜6:05
昨夜の暗記項目の見直し（社会）
6:05〜6:20
算数一行問題
6:20〜6:30
算数一行問題　間違えた単元の類題練習
6:30〜6:35
休憩
6:35〜6:50
国語記述問題
6:50〜6:55
休憩
6:55〜7:05
理科小問練習
7:05
朝学習終了

資料③　出典:『小学実力錬成エフォート』算数Ⅲ



資料④　出典:『小学実力錬成エフォート』国語Ⅲ



講師フォーラム 実施レポート

■フリステウォーカー講師編集部／岡市紗典

関西では9月8日大阪国際会議場『グランキューブ大阪』、関東では9月23日『練馬区立区民・産業プラザ』にて講師フォーラムを実施しました。講師フォーラムは200以上ある教室から選ばれた優秀な教室や講師が、日々の取り組みを発表します。参加者は大阪会場2・189名、東京会場218名でした。参加した講師は、自分の教室で行える取り組みはないか、皆真剣に発表に耳を傾けていました。

講師フォーラムは講師が全ての発表内容を作成し、運営も講師が主に行います。優秀教室や優秀講師が行った取り組みを聞くだけでなく、自分は明日からどのような取り組みを行えるか、自分の教室をどのように改善できるかを深く考える機会となりました。参加講師はそれを教室会議で共有し、より質の高い指導を行うことで塾生と保護者の方へ還元します。

優秀教室による発表

今回優秀教室に選ばれたのは関西では「石橋教室(大阪府池田市)」「明石大久保教室(兵庫県明石市)」「南草津教室(滋賀県草津市)」「松原駅前教室(大阪府松原市)」の4教室、関東では「東久留米教室(東京都東久留米市)」「東村山教室(東京都東村山市)」「野方教室(東京都中野区)」の3教室でした。

関西では、石橋教室が「塾生全員が来たくなる教室」を目指し、講師と学習プランナー、保護者の三者連携を強化するための取り組みについて、明石大久保教室が「講師全員が塾生の夢を実現するため塾生一人ひとりのプロフェッショナルになる」として、志望校合格や成績アップのために塾生の答案分析を強化したことについて、南草津教室が「塾生にも講師にも優しい教室」を目標に、新人講師育成のため、先輩講師のグループを作成し指導力の向上に取り組んだことについて、松原駅前教室が「講師と塾生が相互に満足できる教室」として、新人教育や業務の効率化について発表しました。全参加講師による投票で最優秀教室に選ばれたのは松原駅前教室でした。

関東では東久留米教室が「点数アップへのこだわり」としてカリキュラムや定期テストの直前対策について、東村山教室が「感謝して感謝される教室づくり」として、肯定的な声かけと新人育成をチームでサポートする取り組みについて、野方教室が「昨年の課題と今年度の改善」として塾生との信頼関係や講師間格差など、昨年度までの課題と今年改善したことについて熱く語ってくれました。関東のフォーラムで最優秀となったのは、野方教室でした。どの教室もさまざまな工夫と努力の末優秀教室に選ばれたのがよくわかる発表でした。

関西最優秀獲得・松原駅前教室

関東最優秀獲得・野方教室

優秀講師の発表

優秀教室のほかにも全講師の中で多くの点数アップを実現した講師、体験授業で最高評価を受けた講師、最も多くの塾生を大学合格へ導いた講師など、優秀講師による発表がありました。ここでは定期テストに向けたより実践的な指導法について、塾生から信頼を得るための取り組み、大学受験に向けた計画や普段からの心がけなどの発表がありました。どの発表も明日の勤務から活かせるような取り組みがあり、参加した講師が参考にしたいと感じる発表でした。

他にも、第21回点数アップ祭りでの上位講師の紹介があり、自分の教室の講師が出たときには拍手が上がるなど、参加した講師にとって日々の授業へのモチベーションを刺激されるきっかけになりました。フォーラムで得た知識を自分の教室に還元し、今後の授業に活かせるよう努めます。フリーステップ一同、今後も様々なイベントや研修を通じて指導力を向上させ、塾生の皆さんへ還元できるようこれからも研鑽を続けます。

点数アップに導く指導方法を発表

優秀講師表彰の様子

関東のフォーラムでは授業のロールプレイングも実施。実際に講師同士で授業を展開し、良い点や悪い点を確認しあいました。

ブロックリーダー インタビュー

■フリステウォーカー講師編集部／掛田茉佑

講師自身が企画し、運営する「講師フォーラム」。2019年のフォーラム企画運営に携わった、ブロックリーダー5名にフォーラムに対する想いを語ってもらいました。

参加者
吉井春樹(河内天美教室)、中谷健斗(明石大久保教室)、山口万智子(学園前教室)、上本大貴(千里丘教室)、堀悠星(桂教室)

―フォーラムの運営に携わる際、一番意識したことはなんですか?

吉井：聞き手が話を聞きたくなるような「共感力」を意識する事が大事だと考えました。

僕は開会の辞を担当しましたが、壇上からみんなに実践してほしいことを提案しても、聞く側に共感されなければ、上から目線だと思われる可能性があると、原稿を考える際にメンバーに指摘を受けました。そのため、自分自身、昨年のフォーラムで改善できなかったことを話し、小さなことでもいいので自分で取り組める改善を見つける気持ちで参加してほしいと呼びかけました。提案する側にとって大切なことは話を聞く側の気持ちを汲み取ることだと学ぶ事が出来ました。

―運営に携わる機会がある前と後では心境にどのような変化がありますか?

上本：僕は「なぜこの授業をしているのか」を意識する講師が増やしたいと思いました。授業に入るまでの準備が大切だと思うので、優秀講師が授業前の準備にどのような考えを持っているのかなど、まだ自分に足りない点を意識できました。今後改善につなげていきたいです。そして、ブロックリーダーとして各教室にどのように反映し、取り組むか考えていきます。

堀：今までは、フォーラムは新しい指導法などを学んだだけで終わっていて、「すごい教室が発表している」と聞いているだけでした。しかし、今回企画する側で会議を進めていくうちに、全ての講師が自らの指導法を振り返り、積極的に実践しているフォーラムにしていきたいという気持ちが強くなりました。企画する側になることで、発表する講師の準備してきたことや、伝えたいことの熱量がわかり、もっと多くの講師にそれを伝えようと思いました。

―フォーラムに参加した講師にどのような変化を期待しますか?

中谷：僕は運営に加えて、発表教室としてフォーラムに向けてパワーポイントを制作していたので、より参加する全講師を意識して準備をすることができました。そのため、「フォーラムは今日だけで終わりではないと改めて強く実感することができました。発表内容から各講師が学んだことを塾生に還元することがフォーラムの目的の一つです。講師の皆さんには明日以降教室ごと、エリアごとにどのようにフォーラムで学んだことを取り入れていくかを考えてもらいたいです。今日学んだことをどのように生かすのか個々で考え、新しい志を持った講師として勤務してもらいたいと思います。

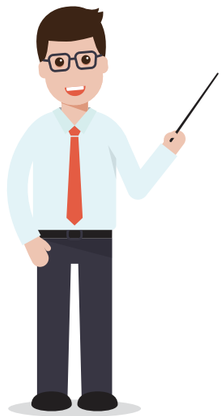
―今後、フォーラムで学んだことをどのように生かしていきたいですか?また、フォーラムはどのように変化して欲しいですか?

山口：運営に携われたことは、普通のアルバイト、一学生としては経験できないことなので、貴重な経験になりました。昨年に引き続き司会進行を務め、昨年の反省を生かしながら、周りを見て行動できるか、時間を見ながら進行できるかを意識して動いたことは、今後社会人として働く際にも役立つと思います。今回始めた新たな取り組みも、次年度以降も改善しながら続けていきたいです。その年ごとのフォーラムのテーマや伝えたいことの趣旨に合わせて、発表内容などを練り直し講師の成長意欲に応えることで塾生の成績アップに還元できたらいいなと思います。

受験学年になる前にしっかりと事前情報を入手！

新年度！

フリーステップ 3大ガイダンス開催！



今年度も受験勉強がいよいよ佳境となる時期になってきました。
受験生ではなくても受験に関する話題やうわさをよく耳にするのではないでしょうか?

しかしその情報が本当に正しいのか・どう生かすべきなのかなど、自分で情報を整理し、
行動を起こすのはなかなか難しいのが実状かと思います。

そこでフリーステップ・Sophia・開成教育グループ代ゼミサテライン予備校では、
来年度の受験生を対象とした受験ガイダンスを受験真っ最中である2020年1月に開催します。
参加費はいずれのイベントも無料となっています。

情報を制すれば受験を有利に進めることができます。ガイダンスで最新の情報を入手し、
第一志望校合格へ一歩踏み出してください。

①中学受験ガイダンス～受験準備回～

中学受験を検討する小学生とその保護者を対象としたガイダンスです。中学受験の最新情報やメリット、学習面で必要なことなどを資料・データを使いながらわかりやすくお伝えします。

【中学受験ガイダンス～受験準備回～概要】

【開　催　日】2020年1月19日(日)
【開催場所】大阪・東京の2会場にて開催予定
【対　　象】新小学4年生～新6年生で中学受験を考えている、
中学受験に興味がある生徒・保護者
【申込方法】WEBにて申込(通知文にてご案内します)
【申込期間】2019年12月2日(月)～2020年1月11日(土)まで

プログラム
①中学受験とは?(中学受験の基礎知識)
②模擬試験の重要性
③入試問題を見てみよう
④受験生の1年間(スケジュール)

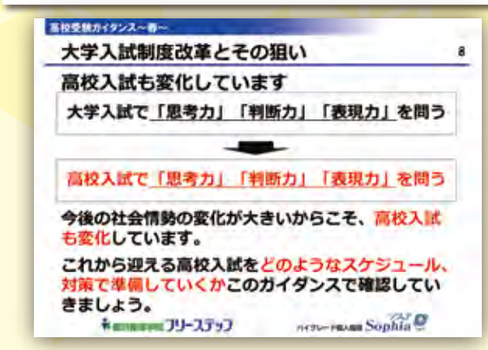
②高校受験ガイダンス

来年度・再来年に高校受験を迎える新公立中学2年生・3年生を対象としたガイダンスです。大学入試改革に伴い、高校受験にも様々な変化が起こっています。ガイダンスでは入試制度の最新情報や、過去のデータを元にして、志望する学校はどのくらい頑張れば合格できるのか、合格のためにどんな勉強が必要かなどをお伝えします。

【高校受験ガイダンス概要】

【開　催　日】2020年1月25日(土)
【開催場所】大阪・京都・兵庫・東京の4会場で開催予定
【対　　象】新公立中学2年生・3年生とその保護者
【申込方法】WEBにて申込(通知文にてご案内します)
【申込期間】2019年12月9日(月)～2020年1月18日(土)まで

プログラム
①今後の教育改革について
②各都道府県別入試制度・入試問題について
③これからの学習方法やスケジュールの組み方



③大学受験準備ガイダンス

新高校3年生とその保護者を対象としたガイダンスです。新テストの情報、各大学最新の入試情報はもちろん、今の勉強法、勉強時間で大丈夫なのか、学校と両立するためのスケジュールの組み方など、受験生になるために必要なことを余すことなくお伝えします。

【大学受験準備ガイダンス概要】

【開　催　日】2020年2月2日(日)
【開催場所】大阪・兵庫・滋賀・東京の4会場にて開催予定
【対　　象】新高校3年生
【申込方法】WEBにて申込(通知文にてご案内します)
【申込期間】2019年12月9日(月)～2020年1月18日(土)

プログラム
①最新大学入試動向
②新テスト最新情報とその対策法
③受験生としての過ごし方

※開催時間、開催場所の詳細については12月配布予定の通知文または同じく12月公開予定のホームページ『イベント・トピックス』にてご確認ください。
※掲載のイベント情報は2019年9月時点のものです。開催日までに入試動向や新たな情報発信によりプログラムが変更になる可能性があります。ご了承ください。

開成教育グループ 入試情報室
藤山正彦の

ぷち教育学

こんにちは。藤山です。教育に関するお話をしていきます。
今回は、世界の教科書から見る日本についてお送りします。

世界の教科書から見る日本

14年前の2005年4月16日（土）。中国上海で200人くらいの学生集団による日本総領事館へのデモ行進が行われ、領事館周辺にたどり着くころには1万人以上に膨れ上がり、約5時間にわたって、レンガの破片やペットボトル、ペンキ、卵、果物などを総領事館に向かって投げ続けました。市内各所でも同様の暴動が発生し、この日の上海のデモ参加者は、最終的に10万人に達したといわれています。反日デモの一部は暴徒化しており、中国人経営の日本料理店や中国人が乗っている日本車に対して大勢で襲撃するなどの事件に発展しました。

この後中国各地に飛び火したこの暴動ですが、原因の一つが中国の「反日教育」であるという報道がありました。しかし、私はこの論に違和感を覚えました。というのは、例えば日本では小学校5年生の社会の授業で【日本の最北端＝択捉島】と習うわけですが、日本からは70年以上簡単にその島に立ち入る事が出来ず、それどころか近づいただけでつかまってしまった人も少なくないという現状と併せて考え、今のロシアやロシア人に対して敵意が芽生える小学生ってどれほどいるものでしょうか、と考えれば、文明国の学校教育がそれほどの他国に対する憎しみや敵意を作る事はあり得ないと思ったからです。

デモに参加した学生たちがどのような歴史教育を受けたかを知るために、今から20年前に、中国（中華人民共和国）の歴史教科書を調べた資料がありましたのでその内容を紹介します。

中華人民共和国

中国の教科書は「人民出版社」から出版された一種類しかありません。高校生用は「簡明世界史」という名前の本ですが、上中下の3冊に分かれた合計1100ページに及ぶ（3冊積み上げると厚さ10センチ近く…）恐ろしい分量の教科書です。全体量も多いのですから、隣国の日本に関する記述はさぞかし多いのでは、と思いますが、実は全体の5％にしか過ぎません。

元寇の事も書いてありませんし、日本文化に関する記述もありません。但し文字（漢字）や宗教（仏教）、貿易に関しては「中国人民から友好的に」伝えられたとあります。邪馬台国は奴隷制度であり、荘園時代（平安後期）や封建時代（鎌倉～江戸）には民衆の暴動（米騒動など）が発生したが、明治の開国以降はファシズム国家になって侵略戦争を起こす。というまとめ方がされています。満州事変・盧溝橋事件から始まる中国本土への侵略により、「人々に多大の苦難を与えた。」が結局ファシズムは崩壊して新中国の誕生をみるに至った経過として書かれています。しかし記述されている分量からすると、最初から日本は相手にされていない印象です。そもそもこの歴史教科書は人民の階級闘争は世界で普遍的に行われてきたという流れで作られているので、文化人は元より徳川家康以外の徳川家の人名が無い代わりに、天草四郎や大塩平八郎、幸徳秋水、片山潜といった反乱を起こした人物や社会運動家がヒーローとして描かれています。

インド

インドの教科書についてです。識字率が半分以下とされる20年前ですが、英語が全学年で必修科目であり、地理や歴史の教科書も英語で書かれています。

さて、「進歩的地理」という1981年の地理の教科書には日本について「三千九百あまりの島々の連なる美しい国土」と良い感じの紹介から始まりますが、時々首をひねるような記述が続きます。「茶は日本人にとって重要な作物であるが（それはそうかもしれない）、桑の木は日本中で栽培されていて、それを餌とする蚕が飼育されている（いつのことだろう）。工業用の原料が乏しいにもかかわらず、鉄鋼や造船、電気機器や光学機械の輸出元である。これは日本人の勤勉さと体力のなせる技である（体力？）。日本は地震国なので、土地が毎日振動している（え？）。従って日本人は軽量な木と紙で作った家に住んでいる（木造3階建てとかもあるんですけど）。現在は建築技術が発達したため、どの町でも鉄鋼やコンクリート製の建物を見ることができる（そういう理由だったのか）。

イスラム圏の学校ではコーランの暗誦が主目的なので、こういう科目はあまり大切にされていないという事情もあるようですが、日本をもう少し知っていただきたいものです。

イギリス

イギリスの教科書は日本というより、日本人理解に力を入れているようです。地理の授業では一部の地域を深く分析研究して、それをモデルに様々な知識を理解させようという、かつて日本の中学でも行われていた方法が主流です。その為に作られた「日本人」という小冊子（1982年）によると…

「35歳以下の女性は『新伝統主義者』と『ネオウーマン』と『過激な平和主義者』に分類できる…。」という不思議な記述もありますが、「多くの日本人はまだまだ外国人とかかわりあいたくないと考えている。」といった

Japan which sees in overseas textbooks

的を射た指摘もあり「ある権威あるイタリアのオペラが来日した時、切符代が恐ろしく高価であったにもかかわらず、すべて売り切れになってしまった。」と西洋に対するあこがれを持っている事も紹介されています。一方ウェールズやスコットランドに進出した日本企業についての記述もあり、日本人に対する警戒感も感じられます。

ケニア

ケニアの中学1年生用の「世界史」についてです。出版はロングマン社、日本でも英語の辞書で知られている有名な会社です。

日本の発展についての記述です。「十九世紀半ばにはヨーロッパの大半とアメリカ合衆国がすでに工業化されつつあったが、日本はまだ後進国であった。しかし今日、日本は多くの産業分野において世界の先頭に立っている。物語は1853年アメリカが国際貿易と外交の門戸を日本に開かせようと強く迫ってきたときに始まった。…」という開国に至る詳細な記述から始まり、「不幸な事には、日本は海外への進出に夢中になった。日本のリーダーシップは軍の指導者たちに強く握られるようになり」と軍拡路線に進むくだりから日露戦争、満州事変、真珠湾、原子爆弾、といった日本の教科書並みに詳しい記述が続きます。戦後の復興や高度な工業化については、その下地は鎖国時代にあるとの主張で「国を支配していた軍事的独裁者たち（将軍）の傘下にあった軍隊を強化するため、数学や物理学や化学と同じように外国語を学べる学問所も作られていた。外科、小児科などの医療分野も高いレベルに達していた。」との記述もあります。現代の日本については識字率の高さや中学校で代数や統計学、電子工学、無機化学が扱われているとされ（間違ってはいない）、ノーベル賞受賞者も紹介されています。

このような詳細に日本が紹介されているのに対して、日本の歴史教科書にはケニアは出てきませんし、地理の教科書でも数行の扱いです。

ケニアの皆さん、すみません。もっとケニアを勉強します。

フランス

これは独特です。高校生用の歴史の教科書の一つである「現代の世界」（1979年）によると、さすがフランス、文化に関する記述が多いのですが、社会、政治や宗教も含めて哲学的に表現されています。

「日本はアジア的東洋に西洋化を加えた存在である。わずか一世紀の間に日本はヨーロッパと北米合衆国の大きな力の水準に到達した。トクガワ将軍家250年余りの鎖国の後、1868年に明治維新が起こり、封建性を捨て自由資本主義の全く新しい制度を導入したのである。20世紀初めからの日本軍の発展は、その工業生産物に支えられて初めての全世界的規模での大戦争を惹起させたが、それは日本にとって一つの賭けであったともいえよう。（うわ、難しいけど全部当たってます。）「機械を模倣して力を得、アングロサクソン的制度を採用し、ヨーロッパ風の衣服をつけることは気軽な事だ。ヘーゲルに心酔し、モーツァルトを聴き、全く違った種類の文化を受け入れる。こうした新しい日本の顔の後ろには、いつも『日本の秘密』が存在しているのではなかろうか。」（…考えすぎです。）

「日本人は西洋の宗教への改宗はしなかった。現在キリスト教徒はわずか40万人ほどに過ぎない。その反対に、日本はヨーロッパやアメリカの音楽や絵画を採用した。伝統的な日本の音楽は能の古典的演奏とともに、民衆の好むジャズの陰に隠れてしまっている。」「その住居の中でも日本人は伝統性と現代性の混合を示している。それゆえにキモノは女性にとっては便利なものなのに、仕事のために放棄されてしまい、ただ儀礼や訪問の際に着用されるだけとなった。」といった記述があるかと思えば、国際政治における日本の役割をのべるなど、私が知る限り最高水準の記述内容となっています。但し日本を詳しい人が読めば面白いのですが、教科書としてはレベルが高すぎて、この記述から日本を理解するのも厳しいのではと感じられます。

日本の皆さん、フランスの教科書で日本について勉強しましょう。

いくつかの国の教科書を例にとりましたが、少なくとも日本に対して敵意をあおるような教科書は見当たらないようです。それに、インターネットも含めて通信手段がこれほど発達した現代ですので、もし偏った内容の教科書があったとしても、それをすべて信じてしまう人も少ないのではと思います。隣国である大韓民国との関係悪化も、韓国で行われている反日教育が原因だとの説がありますが、外交上の問題を教育に押し付け、すべての韓国民が日本に敵意を持っているかのような説は危険だといえるでしょう。因みに日本の中学校社会科教科書における韓国に関する記述量もあまりにも少なく、これで大韓民国という国が理解できるとは思えません。いずれにしても他国の歴史や文化、産業や統治機構などの特性を知る事が、相互理解の第一歩だと思うのですが…。

藤山正彦先生
〈最終学歴〉
大阪大学
人間科学研究科博士前期課程修了
人間科学修士（教育学）
〈所属学会〉
・日本教育学会・日本教育工学会・教育心理学会

参考文献

- 別技篤彦　「世界の教科書は日本をどう教えているか」　朝日新聞社　1999
- 「教育工学事典」実教出版　2000
- 「教育の方法と技術」　ぎょうせい　1993
- 「新教育学大辞典」第一法規出版　1990

個別指導学院フリーステップの情報満載
フリステ walker
2019.12

皆様から頂いたアンケートをご紹介します！

■2019合格体験記

・合格体験記はとてもためになり、これからの受験に対していろいろと考えることができました。（日生中央教室）
・「合格体験記」を子どもにも読んでほしいと思いました。どうやったらがんばれる子に育つのかなと思います。（上ヶ原南教室）
・「合格体験記」子どもの目標とする学校に入学された方のものが載っており、大変参考になりました。（草津東口教室）
・合格体験記を読んで…。勉強の時間の作り方、方法、それぞれに工夫されていて、参考になりそうです。経験は力になりますね。（草津駅前教室）
・2年後、合格体験記にのれたらいいなと思いながら読みました。（北野田駅前教室）
・合格体験記を読んでいて、娘をこの塾に行かせて良かったと思いました。（香芝教室）

■講師座談会　点数アップの秘訣

・点数アップの秘訣のコーナーは、非常に現実的でこれからの参考になりました。（和泉中央教室）
・講師座談会を読ませていただき、塾生とよく話をし、苦手意識を少しずつ改善していった様子をとても心強く思いました。もうすこし長い目で見守り、我が子も苦手意識がすこしでも軽減されればと願うばかりです。（都島ベルファ前教室）
・「講師座談会」を読んで、先生方が点数アップの為に一人ひとりに合った方法で工夫されて授業をしていただいていることを知り、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。（千里丘教室）
・講師座談会を読んで、先生方が子どもに合わせて分かりやすい工夫をされていることを知りました。うれしく思いました。（川西駅前教室）
・点数アップの秘訣を読ませていただき、出来ない所を指摘するだけではなくて、少しでも出来る様になった所は褒めてあげるとの事で、本人の出来たを喜んであげると次へのステップになると実感しました。（針中野教室）
・講師座談会が良かったです。塾生の事を色々考えて授業を進めてくれているのが良くわかりました。（三日市駅前教室）
・講師の先生方の苦労・工夫がよくわかりました。少しでも結果がついてきてほしいです。（北巽教室）
・講師座談会は先生方がどうしたら点数アップになるか、苦手から得意にさせるか工夫されていてさらに信頼感がアップしました。（河内山本教室）
・「点数アップの秘訣」では個人に合わせて教え方を考えていただけている事がよくわかりました。（香芝教室）
・点数アップの秘訣を読んで、先生方も塾生の点数を上げる為にコミュニケーションをとって頑張ってくださってるのだなと思いました。（河内国分教室）
・〝点数アップの秘訣〟を読んで、個々に合わせて考えてくださっている講師の方々に感謝です。（高槻教室）
・一人ひとりにあわせて授業の仕方や何故そうなったのかまで追求して、指導してくれているのは、すごく感心しました。（千里山田教室）

■首都圏有名中学校入試分析　中学受験　夏の過ごし方（実践編）

・中学受験　夏の過ごし方〈実践編〉とても勉強になりました。親としてどのように「サポートをしてあげたり、充実した夏休みを送れる様に準備してあげないとダメだなと実感しました。子どもと一緒に参考にしたいと思います。（貴生川駅前教室）
・夏の過ごし方を読ませていただいて、夏休みの宿題の計画などを考えさせていただけることができてよかったです。（萱島駅前教室）

■東西大学入試公募推薦活用法！

・大学入試の制度も色んな形式があることがわかりました。公募推薦活用法を読んでそのメリットが理解できました。（香芝教室）
・「大学入試公募推薦活用法！」私たちの時代と違って、大学入試改革の影響がありますが、変化に対応できる力を身に着けることが大切だと思いました。（塚本教室）

■フリーステップで夏の計画を立てよう！

・「夏の過ごし方」フリーステップに通うことで、受験生の皆さんが自習しているのを見ているので、クラブが終わると同時に自習に通う生活に切り替えできました。（明石大久保教室）
・「夏の過ごし方　フリーステップで夏の計画を立てよう！」体験談もまじえられ、分かりやすかったです。（北野白梅町教室）
・「夏の過ごし方」を読んで、早目の志望校決定が大事な事が分かりました！（南茨木駅前教室）
・夏の過ごし方がなるほどと思いました。学校が休みの間、本人次第で差が出て来るので、がんばってほしいと思いました。（蒲生教室）

■2019年大学入試　近畿圏高校別実績

・大学進学別の高校のリストに単位制の高校ものっていたので興味がわきました。（松屋町教室）
・高校別実績表を見て、住んでいる地域外情報なので、改めて各校の進学率が分かり、他校の努力が伝わります。（西宮北口教室）
・大学入試近畿圏高校別実績を読んですごい学校がたくさんあるなと思った。（高石駅前教室）
・大学進学者数は、とても気になるところです。やりたいことが充分にできる大学を見つけて目標を持ってがんばってほしいと思います。（高槻北教室）

■2019年度講師全体研修会実施レポート

・講師全体研修会の実施レポートを読み、講師の教育もしっかりされていて、フリーステップに期待できると思いました。（花小金井教室）
・〝講師全体研修会〟のことを知り、一人ひとりの先生への指導にも力を入れておられると実感し、安心しました。（深江橋教室）

■ぷち教育学

・「ぷち教育学」のテーマ、図書館について、おもしろく読ませていただきました。小学生の頃毎週通っていた図書館の雰囲気を懐かしく思い出しました。（西宮北口教室）
・ぷち教育学「学習方略」勉強方法については親子でよくもめます。自分なりの「学習方略」を見つけて、工夫して、達成感や喜びを得られるようになってほしいです。（北野白梅町教室）
・ぷち教育学　暗記を仕方が様々であるというのは本当にそう思います。理科、社会は暗記物だからと思いがちですが、覚えるだけではだめだとつくづく思います。（千里山田教室）
・ぷち教育学を楽しく読ませていただいています。学習の方略の「ゴロ合わせのやり方がとても参考になりました。（萱島駅前教室）
・藤山先生のコラムは目からウロコの内容なので、いつもありがたいです。（小野原教室）
・ぷち教育学のキャリアレジリエンスの事を興味深く読ませていただきました。（下赤塚教室）

■全体の感想

・色々な取り組みがされていて、とても参考になると思いました。（山下駅前教室）
・ちょうど夏休みなので、夏休みの過ごし方の記事を興味深く読ませていただきました。（上ヶ原南教室）
・現在高1ですが、この夏休みを、どう、有意義に過ごしたら良いかの、ヒントを、得ることができました。早め早めの、目標設定につながれば良いなと思います。（古市教室）
・これからの事が良くわかり、他のみなさんの事がわかって自分も頑張ろうと思うのでこれからも拝見します。（宮山台教室）
・大学入試についてだったり、先生方の座談会など興味のある記事がたくさんあって良かったです。（北野田駅前教室）
・「オンライン英検受講者インタビュー」や「東西大学入試公募推薦活用法」は非常に参考になりました。（桃谷駅前教室）
・大学入試についてもいろいろな情報が記載されていてためになりました。（河内国分教室）

企画・編集・制作　企画広報課　発行者　永井 博　印刷所　株式会社 MM印刷　printed in japan Kaisei Education Group
発行所　株式会社 成学社　〒530-0015　大阪市北区中崎西3-1-2　開成梅田ビル
（個別指導本部）0120-59-1060
http://www.kaisei-group.co.jp/freestep/